

○辻泰弘君 民主党・新緑風会、辻泰弘でございます。

額賀大臣に、本来、財政、税制、予算編成等々を御質問させていただきたいと思っておりましたけれども、今般の大臣にかかわっておられますことについて御質問をさせていただくことになりました。いささか突っ込んだこともお聞きするかもしれませんが、そのことをまず申し上げておきたいと思えます。

この件につきましては、福田総理も、御本人が現職閣僚ですからよく聞かれたらどうですかと、このようにもおっしゃっておられますし、町村官房長官も会見で、説明責任という意味で額賀さんにどんどん質問されればいいんじゃないでしょうかと、このようにおっしゃっているところがございますので、どんどん質問していきたいと、このように思っているところでございます。

さて、最初に大臣にお伺いいたしますけれども、明治十八年に内閣発足以降、大臣在任中に二回辞めていらっしゃる方というのは何人おられるか御存じでしょうか。

○国務大臣（額賀福志郎君） 分かりません。

○辻泰弘君 実は、池田勇人さん、佐藤栄作さん、福田赳夫さん、増原恵吉さん、額賀福志郎さんと、この五人、歴史上名を連ねておられるわけでございます。三人の総理経験者を拝見いたしますと、額賀先生も総理・総裁に出ようと、このようなお話もあったと聞いておりますけれども、その有資格者かと、このようにも思ってしまうわけでございますけれども、ただ、この池田、佐藤、福田のお三方は、政治的な行動という中でお辞めになっているということでございます。それから、増原恵吉さんは、防衛庁長官二回されているわけですけど、一回は全日空と自衛隊機の衝突の事故の責任でございましたし、もう一回は天皇の言葉を記者団に披露したという、こういったことでお辞めになったことございまして、不祥事ということにかかわって二回お辞めの方は額賀前防衛庁長官ということになるかと思っているわけでございます。歴史で振り返りますと三回辞めていらっしゃる方はいらっしゃらないと、こういうことのようにございます。

さてそこで、私、一回目の方は責任を取られたということがあるようにも思うんですけども、二回目のことで、KSDのことだったんですけども、いまだにやはり振り返りましても分からないことがございまして、平成十三年一月二十三日に額賀経済財政担当大臣が記者会見をされて、辞表を提出いたしましたと、このようにおっしゃっているわけでございます。そして、そのときにも改めておっしゃっているわけですけども、要は、秘書さんがKSD本部へ行かれて、そして千五百万を預かって、二回に分けてではございませぬけれども。そして議員会館に持ち帰って保管していたということなんでございます。物事の常として、持ってきてそこで預かっておいてくれというのはあるんですけど、わざわざ行って、持ち帰って預かっていたというのも極めて不自然なことで、実はあのころ証人喚問という話がありながらも、結果として大臣がお辞めになったことでそのことは不問に付された形で今日に至っていると、こういうことだったろうと率直に言って思っているんでございます。

そこで、改めてお聞きしたいんですけども、千五百万を預かっていたということがあったんですけど、あの経緯、どのように御説明になりますか。

○国務大臣（額賀福志郎君） もう大分前のことでございますから、いきなり事実関係について思い起こすことができませんが、事前に通告もなかったのを調べてきておりませんが、当時KSDから、おっしゃるように二回に分けてお金を預かり保管をしていたことを後で報告を受けて、報告を受けた際にすぐ返還をさせたということが実態であります。その上で、その後、KSD側との民事訴訟もありましたけれども、これはもう決着をしております。

○辻泰弘君 突然のということですけど、かつての大臣辞任の経緯ということで明確に通告しているわけですから、そんなに幅があるわけじゃございませんですね。かつての大臣辞任の経緯ということでございますから、これはもう正にその本体でございますから、通告がなかったというのは全く違うと思えますね。

それで、そのことも本当はもっとお聞きしたいところですけども、率直なところ、私はあのときの経験というものがなぜ大臣の中でなかったのかなというのを率直に思っているところでございます。

それで、まず確認をさせていただきたいと思います。十一月十五日に守屋さんの証言があったわけでございますけれども、改めてお伺いしたいんですけども、守屋証言のような宴席への参加の記憶はないと、こういうことで、改めてそれで間違いございませんか。

○国務大臣（額賀福志郎君） 守屋証言によって、ジム・アワー氏を中心とした会合に守屋さんそして宮崎さんと私が同席をしたということでございましたけれども、その後、この前も申し上げましたけれども、自分の日程、それから長官時代の運行表、それからジム・アワー氏とのかかわり具合、そういうことを丹念に調べた結果、この御三人と同席したことは、記録はありませんし、同席した記憶もありません。

○辻泰弘君 重ねてお伺いしますけれども、守屋証言のような会合に短時間でも参加した記憶はない、これでよろしいですか。

○国務大臣（額賀福志郎君） 守屋証言のようなジム・アワー氏及び宮崎さん、守屋さんを含めた会合に同席した記憶はありません。

○辻泰弘君 もう一遍お伺いします。

守屋前次官が証言した内容に近い会合の記憶は、これもないですね。

○国務大臣（額賀福志郎君） ジム・アワー氏、それから宮崎さん、守屋さん含めて一緒に同席したことはありません。

○辻泰弘君 そこで、お伺いしたいと思います。

十一月十五日、守屋証言の後のことでございますけれども、私はこのことがずっと不思議に思っておったことがございます。すなわち、大臣が福田総理にどのように報告されたのかということなんですね。これは覚えていらっしゃると思います。いつごろ御報告になったのでしょうか。その外交防衛委員会は十五時二十八分に終わっているんです。御記憶ありますか。

○国務大臣（額賀福志郎君） 福田総理に御報告をとということですか。

○辻泰弘君 そうです。

○国務大臣（額賀福志郎君） 私が総理に申し上げたのは、申し上げたのは、守屋さんや宮崎さんと一緒にジム・アワー氏と併せて会食したことはない、宮崎さんが中心となって招かれた会食もない、守屋証言の内容の記憶がなかったものですから、当時の日記や車両の記録を調べたが、宮崎さんや守屋さんやジム氏と会合に同席したことはないと申し上げたわけでございます。

仮に守屋さんの言うように私がそういうことがあったとしても、守屋さんは、その会合に私が後から来てすぐに帰ったと、最初に帰ったというふうに言っており、私は、そう言っているけれどもそういう記憶はないということを申しました。

○辻泰弘君 その時間帯は御記憶じゃございませんか。要は、委員会が終わった後なのか、委員会が終わる前なのか。

○国務大臣（額賀福志郎君） ちょっと調べてみないと分かりません。

○辻泰弘君 すると今、調べて御報告になったというわけですね、総理にですね。

○国務大臣（額賀福志郎君） そうです。

○辻泰弘君 そうすると、その時間調べて、短時間でお調べになったと、こういうことですね。

○国務大臣（額賀福志郎君） 守屋証言の後、先ほども言ったように、様々な日程とかジム・アワーさんとかかわり合いとか、そういうことを調べたところ、ジム、ジェームズ・アワー氏や守屋氏、宮崎氏と一緒に食事したことはないということが分かったわけでございます。

○辻泰弘君 証言の後ということでございました。当日、外交防衛委員会は終了が十五時二十八分でございます。そして、総理がそのことについての会見をされているのは、これは記録があるんですけども、午後四時半に官邸でそのことをおっしゃって、その足で羽田に向かわれてアメリカへ行かれたと、こういうことになっているわけでございます。

ですから、証言の後といいますと、三時半から総理会見の四時半までの一時間でお調べになったということになるでしょう。まあお調べになることは可能かもしれませんが、そういう理解でいいですね。

○国務大臣（額賀福志郎君） それは十五日という日ですか。

○辻泰弘君 そうです。

○委員長（峰崎直樹君） 速記止めましょうか。

○国務大臣（額賀福志郎君） はい。

○委員長（峰崎直樹君） じゃ、ちょっと速記止めてください。

〔速記中止〕

○委員長（峰崎直樹君） 速記起こしてください。

○国務大臣（額賀福志郎君） これは二十一日の、今、私が答弁いたしましたのは二十一日の……

○辻泰弘君 だから違うんです。

○国務大臣（額賀福志郎君） 答弁の中身を申し上げた……

○辻泰弘君 だから違うんです。十五日の総理……

○国務大臣（額賀福志郎君） わけであります。

総理に申し上げたのは、ですから守屋さんや、ジム・アワー氏及び守屋さん、それから宮崎さんと一緒に会食した記憶はないと。仮にあったとしても、早めに、遅く来て早めに帰られたということですから、そういう記憶はないという話を申し上げたわけであります。

○辻泰弘君 記憶がないならそれだけで終わるところを、すぐに出たからだれが出たか覚えていないというのも、これも変な話でございましてね。

実は、四時半に総理がコメントされているんです。複数の記事がございましてこれはもう間違いないと思いますけれども、恐らく、大臣から報告を受けて時間がたっておりませんから恐らくその言葉をそのままおっしゃったことだったろうと私は思うんです。その言葉をちょっと読みますとね、額賀氏から仮に出席していたとしてもすぐに退席したのでだれが出席したか覚えていないと報告があったと認めた上で、それ以上のことを聞くつもりはない、そのような会合に出ることは政治家としてよくあると、こういったコメントを記者会見でされているわけでございます、総理がですね。

私は、やはり腑に落ちませんのは、大臣は国会における発言、また記者会見においても、なかったということで一貫されているわけですがけれども、総理に対する報告あるいは少なくとも総理の受け止めは、会合があったと、あったけれどもすぐ出たんだと、そしてそういう会合への出席は政治家としてよくあると、こういうことで一つの区切りになっているわけです。そういうことを前提として、これ以上聞くつもりはないと、こういうふうに総理はおっしゃっているわけですよ。それは一つの理解です。

しかし、我々がここで聞いているのと話が矛盾しています。ずれているんですよ。その部分をどう御説明になりますか。

○国務大臣（額賀福志郎君） ですから、守屋証言があった後に、ジム・アワー氏や宮崎さんや守屋さんと一緒に席で会合があった記憶はありませんという話をしました。それを総理にも何かの別の用事でお会いしたときに報告をしたと思いますけれども、その際にも同趣旨のことを申し上げ、その上で守屋さんはこういうふうに言っているから、仮にそういうことがあったとしても、あったとしてもそういう覚えはないということを行ったわけでありまして。

○辻泰弘君 当日、大臣はそれじゃ総理にお会いになったんですか、電話連絡ですか。

○委員長（峰崎直樹君） 速記止めてください。 [速記中止]

○委員長（峰崎直樹君） 速記起こしてください。

○国務大臣（額賀福志郎君） それは今、電話で報告したのか、それとも会って報告したのか、調べて御報告をします。

○辻泰弘君 私は、各紙の動静というのを拝見をさせていただきました。それを見ると、行っていらっしゃる形跡はございませんし、その証言の後にもし官邸に大臣が行かれたならば、それは非常に各紙とも当然注目することから残っているんだろう

と思います。ですから、恐らく電話でされたとしか私は思わない、思えないんですね。

ただ、大臣は今おっしゃったけれども、後で会ったときとおっしゃったけれども、それは別の日のことですよ、それは。ですから、それはあり得ないことですね。違いますか。

○国務大臣（額賀福志郎君）　ですから、それは調べて報告をさせていただきます。

○辻泰弘君　ですから、このことも大臣は、率直なところ、本当のところを私はどうもおっしゃっていないような気がして仕方がないですよ。まず、普通だったら、仮に出席していたとしてもすぐに退席したのでだれが出席していたか覚えていないなど言うことはないはずですよ、出席していなかったら。すぐに退席したって、そういうことを言えたということは、そういう記憶がなかったら言えない話ですよ。

その辺は本当に不思議で、私はずっと是非大臣に一遍聞きたいと思って、今日は聞いて幸いですけれども、それをどう御説明になりますか。

○国務大臣（額賀福志郎君）　だから、私は第一段階として、守屋さんが言うように、ジェームズ・アワー氏、それから宮崎さん、そして守屋さんが同席した会合に出席した記憶はないと、それをきちっと報告をさせていただいた。守屋さんが言うようなことが仮に万が一あったとしても、そういう記憶はありませんという話をしたわけでありまして、守屋さんがそういうことを言っているから、守屋さんがそういうことを言っているから私はそれにコメントをしたわけでございます。

○辻泰弘君　普通だったら、その証言と違うなら違うということだけで終わる話でしょうけれども、そのことを何か前提にして、すぐに退席したのでだれが出席したか覚えていないとおっしゃったというのは、これは私は正直言ってよく分からない不自然さを残しているというふうに言わざるを得ないと思いますので、ここは一つ大きなポイントとして申し上げておきたいと思います。

さてそこで、大臣に別の角度からお伺いしたいと思いますが、財団法人の国際研修交流協会、こういうものがあるわけでございますけれども、この団体との大臣のかかわり、お教えいただけますでしょうか。

○国務大臣（額賀福志郎君）　これはよく承知しております。

○辻泰弘君　どのような御関係でございますか。

○国務大臣（額賀福志郎君）　これはよく、国際研修交流という財団法人でありますから、国内でセミナーを開いたり、あるいは中国とかアジアに行っているいろいろ研修、セミナー、シンポジウムを開いたりしている団体、財団法人であるというふうに承知しております。

○辻泰弘君　これは、大臣がおっしゃったように、大臣は何度かここで講演をされているわけでございます。

例えば、振り返りますと、一九九九年七月二日に、朝鮮半島における協力に関するワークショップということで、講師として額賀福志郎衆議院議員ということで出ておられることがございます。そして、それが四十回なんですけれども、四十三回の二〇〇〇年の五月の十日には、二十一世紀における日米安保の位置付けということでジェームズ・アワーさんが講演をされていると、こういうことがありました。

また、十八回の国際セミナーというのが二〇〇四年の七月に宮城県の蔵王町で行われておりまして、七月十九日から二十二日のようなんですけれども、ここでは額賀大臣が当時の自民党政務調査会長のお立場で講師の立場に立たれている、あるいは講師及びゲストスピー

カーということで立たれている。また、ジェームズ・アワーさんもアメリカ合衆国という中での立場としてゲストスピーカーで立たれている、こういうことがありました。

そこで、おっしゃったように御縁の深いところだと思うんですけども、そこでお伺いしたいと思うんですけども、財団法人の国際研修交流協会の金子さんという方がおられるわけですが、この方との御関係を教えていただけますでしょうか。

○国務大臣（額賀福志郎君） これは私の、国際研修交流協会の理事をなさっている方で、私の友人であります。

○辻泰弘君 これは通告していることですので教えていただきたいと思うんですけども、昨年四月の二十日のことなんです。

そこで、まず防衛省の方にお伺いしたいと思いますけれども、昨年四月二十日の当時の守屋事務次官の行動について、走行指令書から夜の動きをちょっとお伝えいただけますでしょうか。

○政府参考人（中江公人君） 御指摘の平成十八年四月二十日夕刻以降の事務次官車の運行でございますけれども、保存されている走行指令書の記載によりますと、事務次官車につきましては、本庁を出発し、人形町、矢来町、これは前次官の自宅のあるところでございますが、そこを経由して本庁というふうになっております。

○辻泰弘君 人形町というのはどこかということで、運転手さんにも一応聞いてくださいということをお願いしたんですけども、ある程度特定できているんでしょうか。

○政府参考人（中江公人君） 今申し上げました走行指令書に記載していることを前次官のドライバーにも見せまして聞きましたところ、人形町には何度か行ったことがあるということでした。

○辻泰弘君 場所についても教えていただくように言っているんですけども、お願いします。

○政府参考人（中江公人君） 料理店の前で前次官を降ろしたこともあれば、人形町かいわいの交差点付近で降ろしたこともあるが、日時については明確な記憶はないということでした。

○辻泰弘君 その料理店の名前もある程度特定されていると聞いているんですけども、どうですか。

○政府参考人（中江公人君） 料理店につきましては、報道もされている濱田家の前で前次官を降ろしたこともあるということでした。

○辻泰弘君 額賀大臣にお伺いしたいんですけども、昨年四月の二十日の夜の行動について昨日通告をしております、教えていただくように求めているんですけども、この日はどういう行動でございましたか。

○国務大臣（額賀福志郎君） これは、四月の二十日は、その財団法人の理事長の就任祝いがありまして、御案内をいただいておりますので、御案内をいただいておりますので、何か所か会合を経た後、遅く出席をし、お祝いを申し上げて早く退散をさせていただいたということになります。

○辻泰弘君 今おっしゃった財団法人というのはどこの財団法人ですか。

○国務大臣（額賀福志郎君） 今あなたが、辻委員がおっしゃった財団法人国際研修交流協会でしたかな、正式な名称はともかく、国際研修交流協会だと思います。

○辻泰弘君 場所はどちらだったでしょうか。

○国務大臣（額賀福志郎君） それは濱田家でございます。

○辻泰弘君 そうすると、恐らく守屋次官と同席されたことだったと思うんですけども、御記憶ございますか。

○国務大臣（額賀福志郎君） その席に遅れて入ったものですから、だれが何人いたかということとはよく承知しておりません。

ただ、後に、守屋証言が行われた後、日程等を調べている中でこのことが分かったわけでございます。その後、その理事長に問い合わせを、お尋ねを申し上げたところ、その場に、守屋証言にあるように、ジム・アワー氏らがいたのか尋ねたところ、ジム・アワー氏それから宮崎さんがその席にいた事実はないということでもございました。

○辻泰弘君 ジム・アワー氏はおられなかったと思います。

それで、一つ指摘をしておきたいと思いますのは、実は、先ごろ辞任をされました小林温参議院議員がおられまして、この方のホームページにダイエット日記というのが残っております。四月の二十日の活動報告が残っておるんでございます。今も、昨日、私は見たわけでございます。

その四月二十日の活動報告の中に、四月二十日の夜ですけれども、人形町にて財団法人国際研修交流協会の理事長に就任された方のお祝いの会があったと、そして額賀防衛庁長官やある大学の元総長も駆け付けて和気あいあいと進んだということが出ておりました。

そういった意味では大臣がおっしゃったとおりでらうと、このように思うわけですが、メンバーについてはその他の方々、御記憶ございますか。

○国務大臣（額賀福志郎君） 私も遅れて行ったし、それからお祝いを申し上げて早めに退散したので、メンバーが何人いたとかどういう人たちがいたかということは覚えておりません。

そこで、先ほど言ったように、理事長に、後に、あのときにジム・アワーさんとか、守屋証言で私がジム・アワー氏とか守屋さんとか宮崎さんとか同席した会合に出席したということもありますので、それはどうですかというふうにお尋ねしたところ、三人が一緒になったということは、そういう事実は全くありませんということでもございました。

○辻泰弘君 確認させていただきますと、この日は財団法人国際研修交流協会の理事長就任のお祝いで集まれたわけですから、当然その協会の方々がおられたと、当然そうだと思うんですね。その場所は人形町の濱田家であったということです。そして、守屋さんも御一緒だったと、こういうことで、そこはいいんですね。

○国務大臣（額賀福志郎君） 守屋さんが確かにいたという僕は記憶はありません。だから、何人ぐらいだれがいたかということは承知はしていない。

ただ、守屋証言の後にいろいろ日程とかそういう運行表とか調べている過程で、日程の中にそういうものがありましたから、運行表を見ても、公用車で行ったわけではありせんから書いてありません。何回か、幾つかその前に会合があったものですから遅れて参加

したことは事実でありますので、お祝いを申し上げて早く退散をしたということでございますので、はっきりと何人ぐらいただれがということは記憶にない、覚えていないということでございます。そこで、理事長にお尋ねしたというのが本当の経緯でございます。

○辻泰弘君 そのときのことは守屋証言の対象の日じゃないと思うんですけれども、そういったことでの御関係はお持ちだったということは明らかであったし、人形町のお店に行かれたと、恐らく当時の事務次官も人形町のそのお店に行かれたんじゃないかと、このように思うわけでございます。

そこで、別の角度からお伺いいたしますけれども、昨日、衆議院の財務金融委員会で、私ども民主党の古本議員が質問をさせていただいております、昨年の十二月四日の夜の行動について質問をさせていただいております、それについて幾つかポイントをおっしゃっておられるんです。

このことも通告しておりますので、昨年の十二月四日の夜の行動について御報告をいただきたいと思っております。

○国務大臣（額賀福志郎君） これは全く一政治家の行動でございますから、本来、私は何の役職にも就いていないわけでございますから、申し上げることは控えさせていただきたいという話をしておったわけでございます。

しかし、当日の夜、私は、家族と一緒に、家族の友人もいましたけれども、食事をし、その後、これは何人かで勉強会をしていたので、そこに参加をさせていただいたということでございまして、そのほかのことには全く、出席をしたりとか会合を持ったりとかいうことはありません。

○辻泰弘君 昨日もそのような趣旨の御答弁をされているんですけれども、御家族と一緒に食事をされたらと、その後、勉強会がありましたと。勉強会については、安全保障についての勉強会というふうに書いてあるけれども、中身は分からないと、こんなように昨日おっしゃっているんですけれども、その内容について昨日からまた私もお願いしているわけですけど、その内容を教えていただけますか。

○国務大臣（額賀福志郎君） ですから、これは私たちのというか、限られたというか、勉強会でございますから、それについて一つの細かいことを御報告することはないと思っております。全く関係のないことでございます。ジェームズ・アワー氏や宮崎さんとか、それから守屋さんと一緒にいたということが最大の焦点になっているわけでありまして、そういうこととは全く関係のない勉強会でございますので、それは御承知おきいただきたいというふうに思います。

○辻泰弘君 といいますと、昨年の十二月四日でございますから、それほど日がたっていないわけでございまして、そういった意味でその勉強会の記憶ははっきりしているわけですね。

○国務大臣（額賀福志郎君） 勉強会があったということははっきりしております。

○辻泰弘君 その会合、勉強会の内容と参加メンバーはどういうものだったんでしょう。

○国務大臣（額賀福志郎君） ですから、それは安全保障の問題で勉強したということでございまして、参加人員については、メンバーの中は全部記憶しているわけではありません。

○辻泰弘君 安全保障の勉強会でしょうから、アカデミックな話で、それは結構なことでございますから、それはある程度具体的におっしゃっていただいてもいいんじゃないでしょうか。

○国務大臣（額賀福志郎君） これは、別にメンバーとか何かについて、私も今覚えているわけではありませんから言えません。

○辻泰弘君 記憶は鮮明だったというふうにおっしゃっていたと思います。

それと、昨日も、宮崎さん、守屋さん、アワーさんはいなかったということも明確におっしゃっているわけです。だから、やはりそれは、そういう方々がいらっしやらなかったということは、いらっしやった方もある程度それは想定でしょう、厳密にだれだれと言われない、名前を言ってほしいというわけじゃないけど、どういう関係の方が集まっていたとか、それぐらいおっしゃっていいんじゃないですか。

○国務大臣（額賀福志郎君） 具体的に名前が浮かんできませんが、学識経験者とか、そういう方々であると思います。

○辻泰弘君 防衛省にお伺いしたいと思いますけれども、今年の、今申し上げた十二月四日ですね、当時の守屋事務次官の行動を、夕刻の部分、教えてください。

○政府参考人（中江公人君） 昨年十二月四日夕刻以降の事務次官車の走行指令書によりますと、事務次官車につきましては、本庁を出発し、市谷、人形町、矢来町を経由して本庁に戻っております。

○辻泰弘君 これも人形町が入っているんですけど、これも先ほどと同じような状況でしょうか。場所の特定をしていただきたい。

○政府参考人（中江公人君） 場所の特定につきましては、先ほど申しあげましたように、当時の運転手に確認をしましたところ、先ほど申しあげましたその濱田家の前で守屋前次官を降ろしたこともあれば、人形町かいわいの交差点付近で降ろしたこともあると。具体的に、この昨年十二月四日の時点でどこに守屋前次官を降ろしたかということについては記憶がないということでございます。

○辻泰弘君 その後、矢来町、御自宅へ送っていらっしやるわけですから、まあやっぱり、次官のような方を交差点で降ろして、交差点で拾って送り届けるということもなかなか想定し難いことございまして、やはり常識的にはどこかのお店で降ろされて、どこかのお店で、近くで待機されて、それで帰られるということが普通だと思うんですけども。

それはそれとしまして、大臣にお伺いしておきますけど、先ほど安全保障についての勉強会と、こういうことをおっしゃったわけですが、それはどこでおやりになったんですか。

○国務大臣（額賀福志郎君） それは、安全保障の勉強会というふうに日程に書いてあるだけなので、特定をしておりません。

それから、先ほど、総理に対してどういう御報告をしたのかということございましてけれども、十五日は行っておりません。したがって、電話で話をさせていただいたということだと思います。

○辻泰弘君 その場所をどこかというのを御記憶、いらっしやらない方のそのいらっしやっていたということは鮮明に覚えていらっしやるんですけども、いらした方とか場

所が不鮮明であるというのは、ちょっとやっぱり常識的にはなじまないことなんですね。そこはどうか。場所はやっぱりある程度覚えていらっしゃると思うんですけど、いかがでしょう。

○国務大臣（額賀福志郎君） それは、その日は、十二月の四日ですよ。家族と一緒に、あるいは家族の友人と一緒に食事をした後、勉強会をしている席に赴いたということでございまして、そこでどういう勉強をしていたかということは、安全保障の問題ではなかったかというふうに言っているわけでございまして、そこに、問題は、そのジム・アワー氏や宮崎さんや守屋さんが同席をしていたかどうかは今焦点になっているわけでありまして、それは全く関係がないということでございます。

そして、先ほども申し上げましたように、その財団法人の理事長とのかかわり合いにおいて、先ほど申し上げましたように、守屋証言のあるような、その三人が同席した席はないということでございますから、それは是非御理解をいただかなければならないし、そしてまた十二月四日については、どういう視点で私に質問しているのか分かりませんが、そういう事実はないということでございます。

○辻泰弘君 私が伺っているのはその場所のことなんですね。だから、場所をはっきり覚えていらっしゃるんですか。それぐらいかなり詳しく覚えていらっしゃると思うんですけど、場所がどうして覚えがないんですか。

○国務大臣（額賀福志郎君） それは、日程表を見たときに、家族の食事会、それから安全保障の勉強会というふうには書いてあるだけでございますから、その後きちっとそのフォローをしていないということでございます。

○辻泰弘君 先ほど国際研修交流協会の方のことを今の十二月四日のことにも絡めておっしゃったんだけど、そうすると、十二月四日にはその研修交流協会の方もおられたということじゃないんですか。

○国務大臣（額賀福志郎君） そういうことはありません。そういうことが交流協会であったかどうか知りません。

○辻泰弘君 違うということだけは明確に覚えていらして、そうでないところは何かあいまいだというのが私はよく分からないんですけどもね。

そこで、大臣にお伺いします。

昨年のそのちょっと前の十二月一日に東京の東海大学の校友会館で国際研修交流協会のフォーラムが、第五十三回フォーラムが行われております。その場でジェームズ・アワーさんが講師として参加をされておるんですけど、昨年の十二月一日でございまして、大臣、そのことは御存じでしょうか。

○国務大臣（額賀福志郎君） そのことについては私はよく覚えておりません。そのジム・アワーさんが、この前、理事長に聞いたときも、そのことについてはよく私に言ってくれていませんから、よく分かりません。

○辻泰弘君 要は十二月一日のことは知らないということですね、ちょっと確認。

○国務大臣（額賀福志郎君） よく知りません。

○辻泰弘君 その国際研修交流協会の講演、昨年十二月一日にあったわけですが、その慰労会が十二月四日、人形町の料亭で開催されたと聞いているのでございますけれども、額賀大臣が出席した安全保障についての勉強会というのはそれではなかったのでしょうか。

○国務大臣（額賀福志郎君） それとそれは全く違います。人形町の方に行ったことはありません。

○辻泰弘君 私どもは、その十二月四日の人形町の料亭で開催されたその講演に対する慰労会、それに出席をされたメンバーの方から、当日、国際研修交流協会の方々とともに、ジェームズ・アワーさん、守屋事務次官、宮崎山田洋行元専務とともに、当時、前防衛庁長官であられた額賀大臣が参加されたという証言を得ているのでございますけれども、このことについてどのようにお考えですか。

○国務大臣（額賀福志郎君） 先ほど申し上げましたように、財団法人の理事長は、ジェームズ・アワー氏、それから守屋さん、そして宮崎さんが私と同席したことはありませんということをおきにきちっと答えを出してきております。

○辻泰弘君 そうすると、それは、今のおっしゃった十二月四日に行われたものに大臣は来てなかったよと言ってくれていると、こういうことですか。

○国務大臣（額賀福志郎君） もう一度言ってください。

○辻泰弘君 今おっしゃったことは、十二月四日に会合はあったんだけど、大臣は来られてないよと言ってくれていると、こういうことですか。

○国務大臣（額賀福志郎君） いや、四月二十日のことがありましたものですから、理事長にお尋ねをしたところ、これまでにですね、これまでにジェームズ・アワー、それから守屋さん、それから宮崎さんと額賀さんが同席したことはありませんと、こういうことを言っているわけでございます。

○辻泰弘君 私どもは、当日参加された方からそのようなことをお聞きしているわけなんです。ジェームズ・アワーさん、守屋事務次官、宮崎山田洋行元専務とともに額賀当時防衛庁長官、前防衛庁長官が参加されたという、こういったことを参加された方の中からお聞きしております、この大臣の同席は動かし難いものじゃないかと私は思っているんですけど、大臣から真実の報告をいただきたいと思うんですけど、本当に参加されていませんか。

○国務大臣（額賀福志郎君） だから、先ほど申し上げましたように、四月の二十日に財団法人の理事長就任という席に参加したことは事実でございます。したがって、ジム・アワー氏、守屋証言によるように、ジム・アワー氏や宮崎さんや守屋さんと同席したことがありますかというふうに理事長に聞いたところ、理事長はそういうことは全くないということを断言をしてくれておるということを申し上げたわけでございます。

○辻泰弘君 さっきの勉強会ということですけど、場所がまだやっぱりはっきりしないですね。そこはやっぱり当然ははっきりしていただくべきだと思うんですけども、いかがですか。ここまで煮詰まってきたんですから。

○国務大臣（額賀福志郎君） 日程的によくこれを調べた上で、御報告をじゃさせていただきます。と思いたいです。

○辻泰弘君 この十二月四日の行動日程についてお教えいただきたいと通告をしておりますし、昨日は私どもの古本議員からも御指摘、御質問しているわけです。これは当然教えていただけるものだと思いますけれども、余りにもその対応が、今から調べるといふのはおかしいんじゃないですか。

○国務大臣（額賀福志郎君） 元々、元々その、私の役職を持ってないときの日程でございますから、プライバシー的に、日常のことでございますから控えさせていただきますと言っていたわけでございますので、家族と、それから友人との食事はありました。その後、勉強会には出ましたということだけ申し上げさせていただいたわけでございます、それについては鮮明にだれがどういうふうにしたかということは分かっておりませんので、まあ今度、私はこれまでは、ジム・アワー氏とのかかわり合い、守屋さんとかかわり合い、宮崎さんとかかわり合いで調べてきたわけでございますので、そういうことが全部今きちっとなっているわけではないということでございます。

問題は、ジム・アワー氏、守屋証言にあるように、ジム・アワー氏と守屋さんと宮崎さんと一緒にいたということについて、そういうことがないということを経営者の理事長が明言をしているわけでございますから、それははっきりしていることであるというふうにご考慮ください。

○辻泰弘君 場所は大事なところでございまして、このポイントになるわけでございます。それで昨日、古本議員も指摘をさせていただいて、私も昨日通告でその十二月四日の行動日程についてお教えいただきたいということで申し上げております。

それで、先ほど、総理への御報告のときは恐らくもう短時間で調べられてそのことの御報告をされているわけですね。三時二十八分に終了した質問の後、四時半に総理が会見されているわけですから、その一時間の間に短時間でお調べになったんでしょう。そうだとすれば、これ、昨日の夜通告をして今まで掛かっているわけですから、短時間で調べていただけるとは思いますが、今からでもいいですから調べていただければいいかと。

○国務大臣（額賀福志郎君） それは、総理に電話で御報告をしたのは、当然、守屋証言の後いろいろ考えたけれどもそういう記憶はないという私はお話をしたわけでございます。記憶がないという意味は、しっかりと調べないと言えないけれども、記憶がないからないというふうに話をしたわけでございます。その上で、その後は日程表とか様々な角度、ジム・アワー氏とのかかわり合い、そういうことを調べた上で、そういうことはないということをお断言をし、と同時に、ジム・アワー氏とのかかわりがある経営者の理事長が守屋証言のようなことはないということをはっきり申し上げてくれているということをお断言しているわけでございます。

○辻泰弘君 じゃ、確認しますけど、今のお話は、総理へ十一月十五日に御報告をされた、電話でされたということですが、このときは、さっきは調べて報告されたとおっしゃったけど、別に調べずに報告をされたということですか。

○国務大臣（額賀福志郎君） ですから、その守屋証言の後のことでございますから、当然その、そういうことがあったのかなということ、あるいはそんなことはないということ、そういうことを日程的にすぐ全部を調べるわけにはいかないの、いろいろ記憶をたどってもそういうことはあり得ないと、なかったということで、記憶がないという話をしたわけでございます。

○辻泰弘君 確認ですけど、さっきは調べてとおっしゃった部分があったんですよね。だけど、そうすると今のお話は、その十一月十五日の十五時二十八分に外交防衛委員会、証人喚問終わっているんですけども、それで四時半に総理は会見でその報告を受けたということをおっしゃって、その後、羽田に向かわれているわけですが、その一時間の間に電話をされたということだと理解をいたしますけど、それは調べてではなくって御記憶に基づいて総理に報告されたと、こういうことなんですね。

○国務大臣（額賀福志郎君） これは、その時点での記憶でそういうことがないということをお申し上げ、とにかく日程表とか運行表とかしっかりと調べて明らかにしたいという話をしたわけでございます。

したがって、その後私は、この前も申し上げましたように、ジム・アワー氏とのかかわり具合とか様々な角度から調べ上げて、そして結果的に、先ほど申し上げたように、ジム・アワー氏がセミナー等で来ておられた財団法人の理事長に確認をしたところ、額賀さんがそういう、ジム・アワー氏や守屋さんや宮崎さんと一緒にいたことはないと言断をしてくれているわけでございます。

○辻泰弘君 先ほど私ども申し上げましたように、その十二月四日に会合に出席されたメンバーの方から、重ねて申し上げますけれども、国際研修交流協会の方々とともに、ジェームズ・アワーさん、守屋事務次官、宮崎山田洋行元専務とともに額賀現大臣も参加されたという話を伺っているわけでございますけれども、あくまでも同席していないとおっしゃるようでございますけれども、私どもは実は、その日のその会、宴席のその場所と、見取図といいますか、どこにお座りになったかということもちょっとお話を伺っておるわけでございます。

それで、さっきおっしゃいました国際研修交流協会の金子さんと守屋さんが出席された場合には、この雪の間というところでいつもやっていたということをお伺いしております。その雪の間で、守屋さんの向かい側にジェームズ・アワーさんがお座りになって、そのお隣に金子さんと宮崎さんがお座りになっていたけれども、額賀さんが遅れてこられたので、その金子さんと宮崎さんが、額賀大臣が到着された後に左側にずれたというふうな話もお伺いしておりますけれども、これについて全く御記憶がないということでございますか。

○国務大臣（額賀福志郎君） 先ほど申し上げましたように、四月の二十日に理事長就任のお祝いの会がございまして、その席には遅れて出席をし、お祝いを申し上げて、早めに退散したという経緯はあります。

その後、ジム・アワー氏とのかかわり合いもあるものですから、その理事長に対して、その会合にジェームズ・アワー氏や守屋さんや宮崎さんも一緒にいたんですかと聞いたら、そういうことはない、私がそういう席に三人と一緒に同席したことは断じてないということをおっしゃっておりますから、理事長自身がそういうことをおっしゃっておりますので、これが正直なところであるというふうに確信をしております。

○辻泰弘君 このやはりポイントは、安全保障についての勉強会に行かれたというんですけど、その場所ですね、場所と、その参加メンバーですよ。いない、いなかったということははっきりおっしゃるわけだけど、いた人とその場所というのがはっきりしないという、ここが大きなポイントでございまして、やはり大臣、ここは大事なところですからしっかり調べていただきたいと思うんですけども、私は通告していて、今日そのことのお話がいただけたらと思っていたんですけど、いただけないんですから、ちょっと時間取っていただいて調べていただけませんか。（発言する者あり）

○委員長（峰崎直樹君） ちょっと待ってください。
速記止めてください。 [速記中止]

○委員長（峰崎直樹君） 速記を起こしてください。
ちょっと私の方から大臣にお伺いします。

今、事前に通知があった中身について、場所その他が、是非調べて、早急に調べられるものであれば時間を取って調べてもらいたいという要請なんです、その点についてどんな御見解をお持ちでしょうか。

○国務大臣（額賀福志郎君） それでは、私は、そういう公的な肩書を持っていないときの日程でございますから、本当は御報告することは差し控えさせていただきたいというふうに思っておりましたけれども、通告もあったということで、私はそういう考え方で御報告をすることは控えさせていただいたわけですが、これから調べさせていただきたいというふうに思います。早急に調べさせていただきたいと。

○委員長（峰崎直樹君） 調べるということですね。

○国務大臣（額賀福志郎君） はい。

○委員長（峰崎直樹君） いつまでに出していただけますか。

○国務大臣（額賀福志郎君） できるだけスピーディーにやります。

○委員長（峰崎直樹君） ちょっと待って。
ちょっと速記止めてください。
[速記中止]

○委員長（峰崎直樹君） それじゃ、速記起こしてください。

辻泰弘委員から、事実関係を確かめてくださいと。確かめるまでは、これらについては額賀大臣の方から早急に調べたいということでございますので、その調べている間、暫時休憩をしたいと思います。

その休憩の、時間の開始は、額賀大臣の方の調査が明確になった段階でまた御連絡を申し上げたいと思いますので、この間、暫時休憩をさしていただきたいと思います。

暫時休憩いたします。

午前十一時一分休憩

正午開会

○委員長（峰崎直樹君） ただいまから財政金融委員会を再開いたします。
財政及び金融等に関する調査を議題とし、休憩前に引き続き質疑を行います。

○辻泰弘君 午前中の質疑におきまして、昨年十二月四日、額賀大臣が夕方御家族の方々と食事をされた後に、安全保障についての勉強会に行かれたということで、その場所についてお尋ねをさせていただいてお調べいただいたところでございまして、その点について御報告いただきたいと思うんですけれども、やはり事は大臣の名誉にかかわる部分でございますので、そういった意味で包み隠さず答えていただきたいと思います。よろしく願いします。

○国務大臣（額賀福志郎君） 大変貴重な時間を空白にいたしまして恐縮に思っております。

まず、辻委員が言及をされました十二月四日の私の日程について申し上げさせていただきます。

午後六時過ぎから家族と家族の友人たちと銀座のホテルで食事をしました。その後、午後七時から永田町の社団法人平和・文化交流協会の会議室で開かれていた勉強会に遅れて参加をいたしました。

この勉強会は、学識経験者や防衛庁OBの方などが参加されていまして、勉強会でありますので、本来であれば名前を申し上げるのは御迷惑を掛けるため、私としては差し控えさせてもらいたいと思っておりましたけれども、強い要請がありましたので、御本人の了解を得られた方について申し上げます。

元防衛施設庁長官の宝珠山さんを講師に招きましての勉強会であったということでございます。学習院女子大学の畠山先生、それから三菱商事顧問の佐藤さん、それから社団法人平和・文化交流協会の秋山直紀さんらが出席をしておりました。

もう一点は、この間に、辻委員が同じく言及なさいました十二月の一日のセミナーについて財団法人国際研修交流協会に確認をいたしましたところ、十二月一日のセミナーには私は出席をしていなかったということでございます。

それから、後に十二月四日のジェームズ・アワー氏を囲む慰労会があったそうだけれども、これについてお聞きをいたしましたところ、私に対しては案内状を出していることもないし、私の出席はなかったということでございました。

○辻泰弘君 そうすると、平和・文化交流協会に行かれたということだと思いますけれども、これは七時に行かれて何時までおられたと。

○国務大臣（額賀福志郎君） いえ、先ほど言いましたように、私は六時から家族及び家族の友人たちと食事をしておったものですから、その後相当遅れて、まだ勉強会を続けておられたので出席をしたということだろうと思っております。

○辻泰弘君 何時に入られたかというある程度の時間帯は分かりませんか。

○国務大臣（額賀福志郎君） 普通、食事はどれくらいですかね。まあ二時間前後だと思いますけれども、それから交通の時間が掛かるわけでございますから、それははっきりここで明確に申し上げる、覚えというか記憶がはっきりしておりません。

○辻泰弘君 今のお話ですと、十二月四日の十八時過ぎに銀座のホテルでお食事をされて、二時間ぐらいたって永田町の勉強会に行かれたと、こういう理解でよろしいですか。

○国務大臣（額賀福志郎君） そのとおりであります。

だから、時間帯は恐らく私どもの家族だけではなかったもので、皆さんが帰られるまできつといたんだと思いますから、二時間から二時間半ぐらいは食事をしていたのではないかと思います、これもまたはっきりしておりません。常識的に言ってそういうことかなと思っているわけでありまして。

その後、恐らく元々最初から勉強会に出る予定ではなかったもので、サブのスケジュールとして日程表に書いてあったわけで、そこでまだ勉強会をしているというので相当遅れて出席をしたということでございます。

○辻泰弘君 そうすると、先ほどのお話でいきますと、十二月四日にジェームズ・アワーさんの十二月一日のセミナーについての慰労会をやったという、その事実関係として慰労

会があったことは確認しているという前提ですね。

○国務大臣（額賀福志郎君） 先ほど辻委員がそういう御指摘をなさったものですから、それまでは私はそれは知りません。先ほど、辻委員がそういう御指摘があったものですから、財団法人に確認をいたしましたところ、そういう会合があったということでございますけれども、私には案内状も出していないし、出席していることはなかったということでございます。

元々、その理事長に、四月二十日の会合に私が遅れて出席をしたということは先ほど明言いたしましたけれども、その際に理事長はジェームズ・アワー氏や、それから宮崎さんや守屋さんと私が同席したことはないということを明言されておりますし、私が守屋証言の後にジェームズ・アワーさんに対しまして弁護士を通して確認をいたしましたところ、額賀さんとは面識があるけれども、会食をしたことは一度もないということを言っておりますから、私はジェームズ・アワーさんや宮崎さんや守屋さんと会食したことはないということを申し上げているわけでございます。

○辻泰弘君 そういたしますと、今のお話のように、確認をしていただいた結果として、十二月四日に十二月一日のその協会のセミナーの慰労会があって、それは慰労会自体はあったけれども大臣の方には案内状が行かなかつたし、来てもいないよということの確認を取ったということですから、会は行われたということは結果としてそのように今知っていらっしゃるということですね。

○国務大臣（額賀福志郎君） 先ほど確認をいたしましたら、今申し上げましたようにジェームズ・アワーさんを囲んでそういう会合が行われたということではございましたが、私が出席していることはありませんということを明言しておられましたことを御報告させていただきます。

○辻泰弘君 午前中も申し上げましたように、私どもはその会に参加されたお一人の方からお話を伺っておりますし、その方がおっしゃるには、遅れて来られたんでしょうけれども、額賀さんはその金子専務理事さんから促されて、しばらくして帰られたというふうなお話も伺っておりますし、宮崎さんは端の方に座っておられたと、金子さんと宮崎さんは親しいからその場にいたんだろうと、宮崎さんはアワーさんがいるときでなければ来る理由がないんだと、そんなお話も伺っているわけでございまして、その中に、アワーさん、金子さん、宮崎さんとともに元大学の総長の方とか、その協会の理事長さん、あるいは専務理事さん、幕田さん、金子さんですね、この方々もおられる中で額賀さんもおられたということを出席された方からお伺いをしているわけでございまして、その今のお話と大きく食い違っているわけでございます。

午前中お聞きしましたように、その当日のその場所で、どこにどなたが座っていらしたかという、完全ではないにしてもですね、ポイントになる方がどこに座っていらしたかということもお伺いをして、今そういう配置図も手元にはあるわけですが、いずれにしても、大臣はそうじゃないと、行っていないし、そこにはいなかったとおっしゃっているわけでございます。

厳密に言いますと、時間帯が正確でございませぬので、十八時から銀座で、ホテルで食事をされていて、まあ何時に永田町に戻られたのかは分かりませんが、その間のことは必ずしも詰め切れていないわけでございますけれども、私どもとしてはそのようなお話を伺っているということになるわけでございます。

そこで、本来であれば、そういう今のお話のポイントといいますか、やはり大事なところは、国際研修交流協会の理事長さんのお話だとか専務理事さんのお話だとか、それが一つの大きなポイントになっているんだろうと思うので、その方々に、ある意味では参考人

なり、そういったことで来ていただいてお話を伺うということも本来あるべきだと私は思いますけれども、そのことについて、委員長、理事会でお取り扱いいただけないでしょうか。

○委員長（峰崎直樹君） ただいまの提案については、後刻理事会にて協議いたします。

○辻泰弘君 それから、今おっしゃった、すなわち宮崎さん、守屋さん、アワーさんとの同席はなかったということについてずっと一貫しておっしゃっているわけですが、当然のことですけれども、もし証人という立場になられたとしてもそのとおりに断言できると、こういうお考え、お立場でございますね。

○国務大臣（額賀福志郎君） これは守屋証言があられてから私も申し上げてきましたように、自らの日程、それから長官時代の運行表、さらにはジェームズ・アワーさんとのかわり合い具合、そういうことを総合的に点検をしてみました。事務所を挙げて、昼夜を分かつたそういう調査をしたわけでございます。その結果、守屋証言に言われておるように、ジェームズ・アワー氏、宮崎さん、守屋さんを含めた会合に出席したことはない、出席した記録はないということがはっきりしております。

一つは、ジェームズ・アワーさんも、弁護士を通して連絡をいたしましたところ、面識はあるけれども、額賀君と食事を、会食をしたことはないというふうに断言されました。また、ジェームズ・アワーさんを講師等にお呼びしている財団法人国際研修交流協会の理事長に確認をいたしましたところ、理事長も、ジェームズ・アワーさん、それから宮崎さん、そして守屋さんと一緒に席に私がいたことはないということを明言をされております。

十八年の四月の二十日には、私も、理事長就任のお祝いということで遅れて出席をさせていただきましたが、早めに帰りました。その際に、理事長もそういうことを、一緒にいたわけではないということを、ジェームズ・アワーさんや守屋さんや宮崎さんが一緒にいたわけではないということも言っております。

辻さんが言及されましたように、言及されました十二月一日のセミナーにも出ておりません。後にジェームズ・アワーさんを囲む会が十二月四日に行われたということ指摘をいただきましたので、先ほど財団に確認をいたしましたところ、私には案内も出していないし、出席はしていないと明快に答えてくれたことを御報告させていただきたいというふうに思っています。

○辻泰弘君 先ほど、理事会で御協議とお願いしたわけですが、やはりポイントはその理事長さんの御記憶といいますか御説明に大きく依拠している部分があると思いますので、そのことは是非、本委員会としても大事なところで、やはりこの委員会にかかわる中心人物といいますか、一番メインの方である大臣の名誉にかかわることから、是非その点はつまびらかにしていただきたい。それが意味で大臣の本意でもあろうと思いますので、そういったことで、後で協議をしていただいて対応していきたいと、このように思うわけですが。

同時に、十一月十五日にやはり思い出さなければならないことは、守屋証人が証人という立場でずっとあえて言わないとおっしゃってきた中で、やはり、是非言ってくださいということに依拠してお名前を出された。そして、なおかつそのことについて聞かれたときに、額賀さんとのあれははっきり覚えておりました。この後、このジェームズ・アワーさんが日本に来たときに、宮崎さんが来て、それから額賀先生が来て、そして額賀先生が最初に帰っていったと、こういう会合でございまして、私の記憶にあるのは、額賀先生との会議で、そうでございますと、こういうふうになっておるわけですが。

やはりその証言をされた重み、そしてまた、ずっとやはり言うべきじゃないと言っていたけれども、最終段階でお名前を出された。そして、そのことについて、額賀さんと

のあれははっきり覚えておりましたと、ここまでおっしゃっている、その内容でございまして、そのことを否定されるということは、やはりそれは大きな判断といいますか大きな主張になるわけでございます、私は、それはある意味では同等のところのことについてつまびらかにしていただきたいと、このように私は思うんでございます。

それで、大臣はやっぱりこのようにもおっしゃっているんですね。やはりはっきりさせたいというお考えだと思いますし、国民に説明したいというお考えで、それはよく理解できるわけですが、いつだったのか、どこだったのか教えていただいて、そして国民の皆さん方に本当のことをお知らせしたいというふうに思っているのが率直な本当の気持ちなんですと、私もうそをつくことをやっってはいけないと思っておりますと、本当に日時とか場所とかきちんと教えていただきたいというのが本当の気持ちでございまして、このようにおっしゃっているわけでございます。それは当然のことだと思うんです。ここまで大臣がおっしゃる以上ですね。

だから、そうであれば、私はやはり額賀大臣と守屋さんとを同時にお招きをして、その場でどこのことだったのかをはっきりさしていただくしかこれは結論が出ないし、やはりそれが一番早道だと思うし、大臣がそうおっしゃるのであれば、私も大臣のおっしゃることを信用したいと思いますけれども、しかしそのことについてやはりしっかりとした客観的な、具体的なことでの答えを導かなければそういうことにはならないわけでございます、そういった意味で、是非大臣自らそのことを解明する手だては、やはり出発点が守屋さんの証言からきているわけでございますから、その原点に立ち返って、守屋さんとお二人で公の場で、あなたが言っているのはいつのことなんだと、そういうのはなかったんじゃないかと、こういったことでしっかりと詰めていただきたい。その場をむしろ大臣自ら求めていかれる、自らそうしたいというふうに言っていただくことが大臣がさっきおっしゃっている率直な本当の気持ちにつながると思うんです。

いかがですか。そのような場を自らつくろうというふうに思われませんか。

○国務大臣（額賀福志郎君） 私は、守屋証言があった後に、守屋さんが、ジェームズ・アワー氏、それから宮崎さん、守屋さんと同席の会合に私が遅れて出席をし、すぐに、最初に帰ったということをおっしゃったので、そういうことが事実だったのかどうかについて本当に全力を尽くして調査をしてきたと。

その結果、どういう調査をしたかという、先ほども申し上げましたけれども、自らの日程表や長官時代の運行表、それからジェームズ・アワーさんとの会合、会合というか、かかわり合い、そういったことを真剣に調べた結果、そういう三人の席に出席をした記録もないし、記録がないというだけではなくて、ジェームズ・アワーさん自身が、額賀さんとは面識があるけれども会食したことはない。そして、ジェームズ・アワーさんを招いて会食した席で、その招待をしたり会合をセットした財団法人で、額賀さんがジェームズ・アワーさんとか宮崎さんと守屋さんと一緒に同席したことはないというふうに断言をしておるわけでございます。それは、日時がはっきりしている中でそういうことを言っているわけでございます。

したがって、私は自らのこれまでの日程表等々を当たった結果、そういうことはないということを明快に申し上げてきたわけでございます。私は国民の皆さん方にもきっと分かっていただけのではないかとこのように思っております。

以上でございます。

○辻泰弘君 国民から見たときに分からないと思うのが正直なところだと思いますけれども、そうすると、守屋さんの証言というのはやはり間違いだということをおっしゃる大臣としては思っていないらっしゃるわけですね。

○国務大臣（額賀福志郎君） 守屋さんが三人で会ったという趣旨のことを言っているわけですが、どこでいつということについては言及しておりません。したがって、ジム・アワーさんがおられて、しかもなおかつ、その関係者がそういう会合を持った席で私とジェームズ・アワーさんと、守屋さんやそれから宮崎さんが一緒にいたことがあるのかないのかと聞いたときには、そういうことはないということをその関係者が断言をしているということ、それから、ジム・アワーさんも私と会食をしたことは一度もないというふうに明言をしていること、これは客観的に見て明らかにそういうことはないということだと思っております。

守屋証人がうそを言っているとか、そういうことについて、私は辻委員が言うように考えているわけではありませんけれども、私がコメントすることではありません。守屋証言について私がコメントする立場ではありません。

○辻泰弘君 いや、うそとは言いませんけれども、大臣からしたときに事実と反することであると、こういうことだということですね。

○国務大臣（額賀福志郎君） 私がこれまで調べてきた中身、それから関係者と問い合わせたりいろんな調査をした結果、守屋さんが言うようなジェームズ・アワー氏や、それから宮崎さんや守屋さんと一緒になった会合に出たことはないということが明らかに明言されているということを申し上げているわけですが、そんなことはないとは私は申し上げているわけですが。

○辻泰弘君 だから、正確にお答えください。私が申し上げているのは、守屋さんの証言というのは大臣からしたときに事実と反していることだと、こういうことですね。

○国務大臣（額賀福志郎君） 私はそういうことはないということを言っているわけですが、守屋さんの証言が、私の調べた限りにおいては断じてそういうことではないという事実関係と異なっております。

○辻泰弘君 やはり、原点といいますか、出発点はあくまでも守屋さんの証言から出発したことでございまして、額賀さんとのあれははっきり覚えておりましたと、そこから出発しているわけですが。

そして、今のように大臣がお調べになった、そのことはいろんな方々の御記憶等々をたどってやっていらっしゃるわけですが、しかし、突き詰めた話、やはり大臣がおっしゃっているように、いつだったのか、どこだったのかを教えてください、そして国民の皆さん方に本当のことをお知らせしたいと、ここが大事なところでございまして、やはり守屋さんの証言というのが実はいつだったかということがはっきりしてないということに、やはりそこがそういったことにつながっているところがあるわけですが、やはり、その守屋さんから、あのときの証言のその日時がどうだったのかということもより鮮明にさせていただく中でそれに対する額賀大臣の御見解をお伺いする、それがやはり一番早道といいますか、すぐに解決する手段でございまして、大臣が国民の皆さん方に本当のことをお知らせしたいと、こういうふうに思っているとおっしゃっているのはそれはもっともだと思うんですが、そうであれば、正にそのことをすることがそれにつながるというふうに私は思うわけですが。

そういった意味で、財務大臣に対する不信、疑念を払拭する必要があると思うわけですが、この財政金融委員会の中で、守屋氏と額賀大臣のお二人を同時に来ていただいて、証人の場で証言をしていただきたいと、このように思うわけですが、委員長にお取り計らいをいただきたいと思っております。

○委員長（峰崎直樹君） ただいまの御提案も、後刻理事会で協議いたします。

○辻泰弘君 もう一点お伺いしておきますけれども、私が今申し上げましたように、大臣について、この件について非常にやはり疑惑と言っちゃなんですけれども、やはり疑念を払拭できない状況にあるわけでございます。大臣は国民の皆さんから理解していただいているというふうなお話でございましたけれども、私はやはり国民の不信が払拭できないこの今の状況だと思っております。そして、このような状況の中で予算編成の重責を担う財務大臣の職に、務まるのかというのを、私は率直に言って疑問を持っております。大臣としてはその点についてはいかがお考えでしょうか。

○国務大臣（額賀福志郎君） 私は、守屋証言で言われたようなジム・アワー氏、ジェームズ・アワー氏、それから宮崎さんや守屋さんと同席したことはないということを明言をして、調べた結果そういうことが明らかになって、今御報告をさせていただいているわけでありまして。

一方で、財務大臣として今、来年度予算編成の作業を行っているわけございまして、これは財務大臣としての現在の最大の仕事でありますから、きちりと責任と使命を果たしていくことが私の仕事であるというふうに思っております。

○辻泰弘君 やはり客観的事実といいますか、真実というものは動かせないものだと私は思っております。そのことを申し上げまして、私の質問を終わらせていただきます。